

会 議 要 旨

会 議 名	令和 7 年度第 2 回 館山市地域公共交通会議
開 催 日	令和 7 年 1 2 月 1 1 日（木）午後 3 時 0 0 分～午後 4 時 1 5 分
開 催 場 所	コミュニティセンター 1 階 第 1 集会室
出 席 者	[委 員]合計 2 5 名（欠席 3 名）※別紙一覧表のとおり [館山市]合計 4 名（総合政策部長・企画課長・公共交通係長・係員）
公開・非公開の別	公 開
傍 聴 人 数	0 名
議 事	<p>【議 事】</p> <p>（１）館山市地域公共交通会議設置要綱の一部改正及び副会長の選任について</p> <p>（２）館山市街地循環バス令和 8 年度以降の運行について</p> <p>（３）南房総・館山地域公共交通計画について</p> <p>【その他】</p> <p>・事務局、出席委員からの情報提供等</p>
会 議 内 容	<p>◇開会</p> <p>◇会長あいさつ</p> <p>◇議事</p> <p>（１）館山市地域公共交通会議設置要綱の一部改正及び副会長の選任について</p> <p style="padding-left: 2em;">・事務局より「資料 1」について説明し、石井会長より田上委員を副会長に指名した。</p> <p>【質疑・意見等】</p> <p style="padding-left: 2em;">なし</p> <p>（２）館山市街地循環バス令和 8 年度以降の運行について</p> <p style="padding-left: 2em;">・事務局より「資料 2・資料 2 別紙」を用い、令和 8 年度以降の市街地循環バス運行について説明した。</p> <p>【質疑・意見等】</p> <p style="padding-left: 2em;">（鈴木ひとみ委員）</p> <p style="padding-left: 2em;">・1 か月乗り放題が 2,000 円から 4,000 円と倍になるのは結構大きいと思う。運賃を高くして収入を得るより、安くしてたくさん乗ってもらった方が良くはないか。100 円から 200 円に上がったのは、割と最近だと思うが、利用者からは、また上がるのかという声が出るのではと思う。11 月に利用者が増えたため、金額を上げるよりも、乗りやすさを追求した方が良くないか。</p>

	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和 5 年に、実証運行から本格運行に移行する際に、100 円から 200 円に上げている。料金を上げずに乗客を増やすことについては、利用者の利便性を上げ、利用者を増やす取組も運賃改定と同時に進めていく。収支率が低いと、利用者を増やしつつ、運賃改定をし、持続できるよう考えている。 <p>(東委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当面の収支率の目標は、何パーセントか。 <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和 8 年度の目標は、8%、9 年度は、10%を目標としている。 <p>(東委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和 7 年 4 月から 9 月は 6.82%。運賃を上げたら、乗客が減るのではという懸念もあると思うが、何人利用される想定か。 <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在の乗車人数を維持しながら、250 円に運賃改定した際は、8%を達成できる見込み。値上げをした場合、利用者離れが若干はあると思われるため、少しでも利用していただくために、広報紙や、先日実施した公共交通啓発イベントなどを行い、利用率向上を図っていきたいと考えている。 <p>(大橋委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これから渚の駅に入るという計画だが、冬休み、やゴールデンウィークなど一般車が集中し、バスが入れないといった事態もあり、この運行時間で間に合うのか、また、順回りの銀座通り商店街から館山駅まで入る時間が 2 分削られている理由はなにか。 <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運行時間に関しては、バス運行事業者と相談しながら進めていく。銀座通り商店街からの時間も調整しており、こちらも運行事業者と相談し無理のないダイヤで調整する。 <p>(三井原委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収支率の件で、赤字部分はどこが負担しているのか。 <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運賃収入と国から補助金を受けているほか、車内広告掲載料、算定上 8 割分が特別交付税にあたり、残りが市の負担となる。 <p>(三井原委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この先何年間かで、その補助制度等が変わる可能性はあるか。 <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状のまま継続の予定。 <p>(眞汐委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国と市の負担割合はどのくらいか。 <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運賃収入が 6%、国庫補助金が 10%、残りの金額の 8 割が特別交付税の対象となる。
--	--

(眞汐委員)

- ・バスは公共性があり、約 800 万の団塊世代が、公共交通を使う確率が増えてくる。今後乗客数が右肩上がりが増えていく事が予想される。市の持ち出しが変わらないのであれば、あえて高い運賃を設定する必要はないのでは。年金生活者が増えてくるなか、今回の値上げ率は年金上昇率をはるかに上回る 25%。簡単に値上げをすることを考えるより、価格を維持して、利用者を増やす事で収支率を上げることが大事だと思う。

(事務局)

- ・運賃収入、国庫補助金の残り 84%は、市の税金が補填している。84%の内 80%が特別交付税で補填される予定だが、特別交付税のため、他地域で災害が発生した場合などは、そちらに優先的に交付されるため、減ってくる可能性がある。満額来ることはあまりない。

(眞汐委員)

- ・年間の市の負担額はいくらなのか

(事務局)

- ・年間経費約 2,900 万の内、約 2,300 万が特別交付税の対象となる。

(眞汐委員)

- ・負担額が 5 千万、1 億となるなら、市の財政を考えれば、どうにかしなければと思うが、数百万の単位で、利用者から運賃を上げることが良いのかと思っている。そこまで負担がないのであれば、値上げしないでやっていただきたい。

(田村委員)

- ・我々高齢者は元気な方もいるが、大半は動作が緩慢なため、乗り降りにどうしても時間が掛かってしまう、更に財布からお金を出す際遅くなってしてしまう。これは運転手のストレスにも繋がると考える。ご本人も皆さんに迷惑がかかると思いストレスになる。これらを鑑みてスムーズな乗降を目指すにはやはりキャッシュレス決済が良いと思う。そこに誘うにはキャッシュレス割を行いキャッシュレス決済を推奨して頂きたい。
- ・バスに関しても倍の値上げは少し乱暴かと思う、どうしても必要であるならば 1 ～ 2 割に抑えて頂きたい。

(石井会長)

- ・多々意見があったが、今後パブリックコメントの実施を予定しているほか、今回の意見を次回の運賃協議分科会に諮らせていただく。

(3) 南房総・館山地域公共交通計画について

- ・事務局より「資料 3～資料 3 別紙」を用い、南房総・館山地域公共交通活性化協議会にて作成した、南房総・館山地域公共交通計画素案について説明した。

【質疑・意見等】

(鈴木ひとみ委員)

- ・館山市地域公共交通網形成計画では、各地域の細かい計画が立ててあったかと思う。話を聞く限りだと、国の補助金を受けるためだけのよう聞こえるがいかがか。

(事務局)

- ・今回地域全てでのヒアリングは予定していない。豊房線に関して、再編の検討を進めるため、ヒアリングを予定しており、市内で行うのは1地区の予定。

(鈴木ひとみ委員)

- ・他の地域でチョイソコが上手くいっている地域は、かなりの努力をし、地域で説明会等を行っている。頑張っていたきたいと思う。

(三井原委員)

- ・p 14 地域間幹線系統の利便性向上について、3路線の補助金活用について書かれているが、補助金に1市町で2つまでといった縛りがあるのか。

(事務局)

- ・地域間幹線系統に関しては、市域を跨ぐ路線となっている。それ以外の路線に関しては、p 15 の事業内容で検討していく。

(三井原委員)

- ・洲崎線としては、西岬地区としても、補助金をいただけるような取組を検討していただきたい。

(東委員)

- ・駅東口の案内表示について、来訪者も、地域の人もしどこに行けば良いか分かりづらいといった状況が、10年以上続いている。観光協会に人が聞きに来ているが、協会職員も手が足りない。何故わかりづらい状況かを、今一度会議でしっかり検討していただきたい。公共交通利用者に関して、総合計画のアンケートで、73%の人が車がないと不便と回答している。車が無いとどこにも行けないというのが土台になっている。高齢化率が上昇する中、神余地区で地域運営組織に関わっているが、地区のアンケート結果から、7割が車を利用しており、3割が車を使っていないという状況で、3割の人がバス停まで行く手段まで検討していかないと、交通不便の解消に繋がらないと考える。計画を作って終わりではなく、地域まで踏み込んで考えていただきたい。

(石井会長)

- ・いただいた意見に関しては、南房総・館山地域公共交通活性化協議会にて報告させていただき、反映を検討していく。また、令和8年2月にパブリックコメントを予定しているため、追加で意見があれば、そちらでも回答いただければ。

◇その他

(高橋委員)

- ・11月17日付で一般路線バス運賃改定に係る認可申請書を提出した。申請理由は、1997年4月の改定以来、消費税の引き上げを除き、28年運賃見直しをしてこなかった。コロナ禍の利用ニーズの変化や少子高齢化、運転手不足といった運行に必要な要因の確保に係る経費が増加したため。改定実施予定日は来年4月を予定している。運賃額は、初乗り30円の値上げを予定している。
- ・JRバス関東と協働運行している、新宿なのはな号に関して、12月12日より、これまで運休していた便を復活させるダイヤ改正を行う。

	<p>(鈴木ひとみ委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 富崎地区と神戸地区でぐるっとバスのサービスをボランティアで行っている。来年 1 月 26 日に社会福祉協議会主催で、ボランティア互助活動運転者講習会を実施する。是非ご参加いただきたい。 <p>【事務局から】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 会議要旨についてはまとまり次第送付するので、内容確認をお願いしたい。 ・ 次回会議の日時は令和 8 年 2 月に、運賃協議分科会と同日を予定している。決まり次第ご連絡させていただく。 ・ 日頃より、公共交通をご利用いただいていると思うが、今後の公共交通ネットワーク維持のため、より一層公共交通の利用をお願いする。 <p>◇閉会</p>
--	---